

生後発症の IgE30000 の慢性アトピー性皮膚炎が、2 カ月で劇的に改善 ステロイド治療からノンドラッグへ

41 歳 男性 H25.7.5～9.16

生後すぐに乳児湿疹を生じ大豆アレルギーの診断。ステロイド軟膏による治療を行った。幼児期、ミネラル水で一時的に改善した事があったが、湿疹は慢性的に持続した。プールでは痒くなるが、海水浴では良くなった経験がある。学童期は全身にアトピー性皮膚炎が生じ、給食もやめていた。中学時代は部活でやや改善し、全身には生じていたが軽めだった。高校ではステロイド軟膏を使用しコントロール。就職後は悪化し、強めのステロイドを使用してコントロールしていた。

H25.6 初めから脱ステしたものリバウンドが強く、インターネットで当院を探し当て入院。

以下は彼の入院感想から

カサブタだらけの真っ白な顔、体は発赤し太ももからつま先までの間で所々液体が出たり、首は回せない状態で外出も嫌になり、自己療法に限界を感じ『アトピー入院』で検索したところ、ナチュラルクリニック 21 を発見しました。

入院当時は、浴槽に 4～5 時間入るようにし、数日後には顔のカサブタも剥がれ、足から出ている液体も止まってどんどん回復していきました。

当初の予定では 3 ヶ月の入院でしたが、思いの他回復が早く、2 ヶ月と 10 日位で退院することになりました。退院 5 日前くらいにこの文を書いています、現在、目標であった脱薬剤の状態になっています。特に顔と胴体は普通の人のようなツルツル肌になりました。

	基準値範囲	2013/7/6	2013/8/6	2013/9/9
TARC	450 以下	20218	1652 ↓	444 ↓
LDH	120～245	443	211 ↓	205 ↓
IgE	170 以下	30657	31535	15544 ↓
好酸球	7%以下	18.3	6.4 ↓	2.4 ↓
POEM 自覚症	最重症 20～28	22	4 ↓	4 ↓

TARC は 1 ヶ月で 12 分の 1 まで低下。**BST** は脱ステのリバウンドを一気に抑制している。

生後間もなくからステロイド外用を使用していた患者さんですが、ノンステロイドのみならず

ノンドラッグを達成。全く健康人の肌に戻っている。バチルス入浴療法のとんでもない可能性が見えてくる。

BSC 2か月後 とても同一人物とは思えない程の変化







